



各分野の区域での取組

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた青葉区アクションプラン

横浜市では、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるため、**介護・医療・介護予防・生活支援・住まい**が一体的に提供される、日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービス提供体制「**地域包括ケアシステム**」の構築を進めています。具体的には、各区において、団塊の世代全員が75歳以上（後期高齢者）となる2025年に向け「アクションプラン」（※）を定め、取組を進めています。※平成30年3月策定の「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた青葉区行動指針」を令和3年度に改訂

目標

「住みつけたい・住みたいまち」青葉の実現のために
～あなたの力の1%を あおば の未来に！～

青葉区 地域包括ケアシステムの推進

取組の柱	目指す姿と主な取組
健康づくり ・介護予防	<p>「高齢者が支援をしながら・受けながら、健康づくり・介護予防の活動を楽しんでいる地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①身近な場所で介護予防に取り組む多様なグループ活動が広がるよう支援します。 ②歩きに着目し開発された「ハマトレ」のできる場を拡充します。 ③つながりを保ち、役割を持ったうえでの社会参加が介護予防に資することを普及啓発します。
生活支援 体制整備	<p>「高齢者一人ひとりが、出来ることを大切にしながら暮らし続けられるよう、 多様な主体が連携・協力する地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支援を要する高齢者に向け、様々な主体による重層的な生活支援の機会を創出します。 ②生きがいを持ち、元気に暮らし続けられるように様々な社会参加の機会を創出します。
医療・ 介護連携	<p>「高齢者が自らの意思で生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく生きることができる地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①疾病を持ちながらも、高齢者が住み慣れた地域や自らが望む場所で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護連携ノート等の様々なツールや支援者の取組を普及啓発します。 ②ICTを利用した連携ツール活用により、医療・介護関係者間の連携を推進し、在宅療養者や家族の支援につなげます。
認知症支援	<p>「認知症になっても自分らしく、安心して暮らせる地域 ～語り合い、理解しあい、支え合い、お互いさまの地域～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症に関心を持ち、自分ごととして捉えられる市民や行動する市民を増やします。 ②認知症に早期に気づき、本人や家族が受診や必要な支援につながるようにします。 ③成年後見制度の普及啓発を行い、適切かつ円滑な権利擁護へとつなげます。
区民の 意思決定 支援	<p>「高齢期の「自分らしい暮らし」の実現に向け、区民があらかじめ準備・行動できる地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ライフ100BOOK」や青葉区版エンディングノート「わたしノート」等の普及啓発を行い、本人の意思が尊重されるよう支援します。 ②在宅医療・介護を担う支援者が、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人の考えを基に組み立てていけるよう支援します。
シニアの 社会参加	<p>「社会参加の意欲を持つ高齢者等が、経験を活かして活躍できる地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自らのスキルを活かして地域貢献に取り組みたい区民の活動を支援し、介護予防や社会参加につなげます。 ②高齢者等が体力やライフスタイルに合わせて柔軟に働きながら、趣味の活動や仲間づくりを楽しむなど、豊かなセカンドライフを送れるよう支援します。

あおば健康スタイル

美しい街並みや豊かな自然などの青葉区の魅力を生かして、「運動」、「食生活」、「健康チェック」の3つの視点から、区民の皆さんに健康づくりのためのアクションを呼びかけています。

運動

まずは毎日歩くことから
こまめにからだを動かそう

食事

バランスよく3食しっかりと
野菜たっぷり、塩分控えめのコツ

たばこ

たばこの煙をなくそう

歯と口

お口の健康を保とう
お口の衰えをいまから防ごう

健康診断

年に一度は健康診断を

つながり

つながりづくりは健康づくり



「あおば健康スタイルブック」には、“気軽にできること”のヒントが掲載されています。

まずは無理なくできることから、健康づくりをはじめましょう。

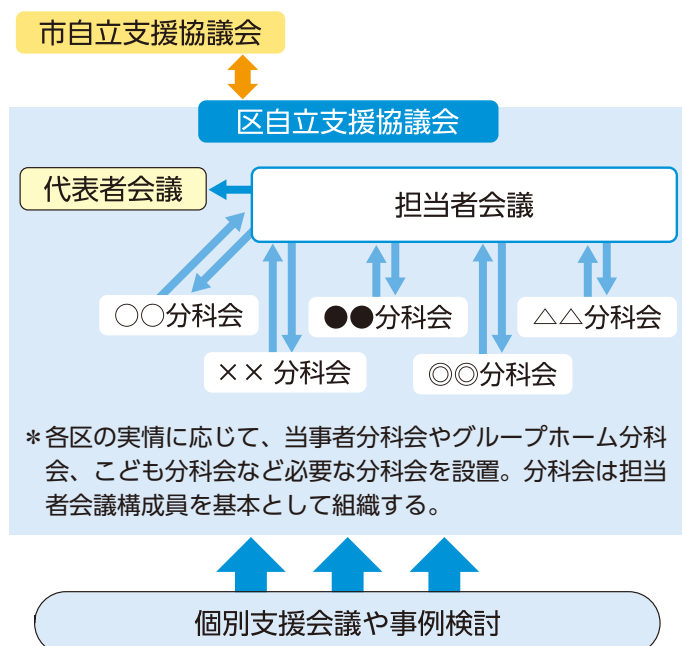


青葉区自立支援協議会

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（「障害者総合支援法」）に位置付けられた会議で、障害のある方が地域で安心して生活するために、「人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し、解決に向け地域で協働する場」です。

「代表者会議」での各関係機関の取組の共有のほかに、各分科会を設置し、具体的な取組をすすめています。青葉区では「相談支援部会」「児童支援部会」「精神部会」と「連絡会」、「プロジェクト」が連携しながら、地域課題の解決に向けて様々な取組をしています。例えば、事業者同士の連絡会で情報や課題の共有を行ったり、「サポートファイルかけはし」の作成をしました。

また、市と区の協議会はお互いに会議で出された課題や情報を共有、検討しています。



子育て世代包括支援センター

青葉区は、妊娠期・乳幼児期、青少年期、児童虐待防止対策、障害児への支援など、様々な分野の取組を効果的に連動させ、総合的に支援することで、妊娠期から青少年期までの切れ目のない子育て支援を推進します。また、地域のつながりを強化することで、子育てしやすい地域づくりを進め、『未来をつくる子ども・青少年一人ひとりが、様々な力を育み、健やかに成長できるまち』を目指します。

横浜市では、子育て世代をめぐる現状と課題を踏まえ、子育ての不安感・負担感が高まりやすい妊娠初期から出産後の支援を特に重視し、横浜の強みを活かした妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築することを目的に、「横浜市版子育て包括支援センター」が平成29年度から展開されています。

青葉区でも平成31年度からすべての妊産婦や子育て家庭が地域で見守られ、安心して子どもを産み育てられるように、母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期の相談支援の強化、また産婦人科・小児科等との医療機関や関係機関との連携の強化を図るように取り組んでいます。



セーフティネット会議

セーフティネット会議は生活にお困りの方が地域で安心して生活できるよう、地域の支援機関が協力して支援をしていくための体制強化を目的として定められた会議です。支援を必要としている方の情報共有、地域の困窮課題の抽出などを行う「個別レベル」、地域支援機関のネットワーク構築、区域の共通課題の確認・検討などを行う「区レベル」、市域の支援機関のネットワーク構築、市域の共通課題の検討を行う「市レベル」の3階層で会議を実施しています。

青葉区では主に地域ケア会議との共催という方法を取り、地域ケアプラザと協力して個別レベルセーフティネット会議を開催しています。また、地域の支援機関の長、実務者と連携体制のあり方等の検討を行う区レベルセーフティネット会議を年2回、開催しています。会議参加者には会議内の個人情報について守秘義務が課せられ、違反した場合には厳しい罰則があります。生活にお困りの方の具体的な状況把握や適切な支援、地域の困窮課題の把握に役立っています。今後もセーフティネット会議を有効的に活用しながら生活にお困り方の支援の充実を目指します。



青葉区社会福祉協議会

社会福祉協議会は、住み慣れた地域社会の中で、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念のもと、住民やボランティア、市民団体の方々などと共に、地域福祉活動を中心に様々な活動を展開する民間団体です。

横浜では、横浜市社会福祉協議会のほか、各区に一か所ずつ区社会福祉協議会があり、青葉区社会福祉協議会は、市が尾駅から徒歩約4分の所にあります。



青葉区社会福祉協議会の主な事業

団体支援的な事業

- 地区社協支援
- 地域福祉保健計画（地域活動計画）
- 地域ケアプラザ等への協力
- 生活支援体制整備事業
- 障害児者支援事業
- ボランティア活動団体支援
- 福祉関係団体事務（共同募金会、日赤地区委員会、更生保護協会、保護司会）
- あおばふれあい助成金
- 善意銀行
- 福祉保健活動拠点の運営

個別支援的な事業

- 送迎サービス
- 移動情報センター
- ボランティアセンター
- あんしんセンター（権利擁護事業）
- 生活福祉資金貸付
- 福祉相談

広報・啓発・人材育成

- 広報紙
- ホームページ、Instagram
- 福祉教育
- ボランティア育成
- 実習生対応



地域ケアプラザ

地域ケアプラザは、誰もが地域において健康で安心して暮らせるよう、地域の皆様と一緒に、様々な取組を行っている横浜市独自の施設です。区内に12カ所あり、地域の皆様の福祉・保健活動やネットワークづくりを支援するとともに、住民主体による支え合いのある地域づくりを支援しています。また、地域の中での孤立を防ぎ、支援が必要な人を把握して支援していくとともに、地域の課題を明らかにして地域住民と一緒に解決に取り組んでいます。

地域ケアプラザ

- 福祉・保健に関する相談・助言
- 地域の福祉・保健活動の拠点として活動の場の提供
- 地域の福祉・保健活動のネットワークづくりの支援
- ボランティア活動の担い手の育成・支援

地域包括支援センター

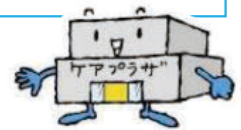
- 福祉・保健に関する相談・支援
- 介護予防・認知症予防の取組
- 権利擁護
- 地域ケアマネジャー支援や事業者や地域の関係者などの支援のネットワークづくり
- 介護予防ケアマネジメントの作成

地域ケアプラザの主な職種

- ・ 所長
- ・ 生活支援コーディネーター
- ・ 地域活動交流コーディネーター

地域包括支援センター

- ・ 保健師等
- ・ 社会福祉士
- ・ 主任ケアマネジャー など



ケアプラくん

このほかに居宅介護支援事業や高齢者デイサービス（一部を除く）等を実施しています。

団体別アンケート及びグループインタビュー（実施順に掲載しています）



子育て支援者等

- 回答者 「青葉区子育て支援ネットワーク連絡会」（令和元年7月実施）
- 主な意見
 - ・お互いを大切にする心をもつことが大切。
 - ・防犯、防災に向け、一人ひとりが関心をもち、声をかけあう顔の見える関係づくりが必要。
 - ・地域の一員であるという意識を持てると良い。

民生委員・児童委員

- 回答者 「青葉区民生委員児童委員連絡協議会」（令和元年9月実施）
- 主な意見
 - ・気になる方を「気にかけています」というサインを発信する。まずはあいさつから取り組めると良い。
 - ・エリアを小さくして、交流会のような会を開いて、地域の人が親しくなっていけると良い。
 - ・気になる方の状態を把握する。この方達が私たちに何をしてもらいたいのか？どのように手を出したらよいか？気になる方にアンケートを取れると良い。
 - ・地域で自治会町内会や地域ケアプラザ等の連携により見守り、情報交換の場があれば良い。
 - ・自治会行事（まつり、防災訓練、掃除など）に気軽に参加できるよう、お声かけができると良い。

PTA

- 回答者 「青葉区PTA連絡協議会」（令和元年9月実施）
- 主な意見
 - ・日頃のあいさつを大事にし、コミュニケーションをとるよう心がけることが大切。
 - ・地域に子どもも大人も全員が積極的に参加できる行事を増やすこと。そのためには、市やその他の団体等から力を借り、企画・運営される仕組みを考えられると良い。
 - ・子どもが地域活動（自治会の行事、例えば夏祭り、防災訓練、公園清掃など）に保護者と一緒に参加できると良い。
 - ・学校で地域のことについて学習できると良い。
 - ・地域とのつながりを持つためには、その地域のことを良く知ることから。
 - ・近所の人にあいさつする。そのために、親が率先してあいさつしたり、顔見知りの人を増やしたりできると良い。
 - ・地域・学校・PTAが連携して子供達を見守っている地域は、住みやすい街だと思う。



主任児童委員

- 回答者 「青葉区主任児童委員連絡協議会」(令和元年9月実施)
- 主な意見
 - ・ 子供達中心の取組を地域で発表する機会を作ると良い。
 - ・ ボランティア、趣味、遊び、スポーツ等様々な活動が地域でたくさん活発に行われると良い。
 - ・ 子どもが気軽に立ち寄れる居場所、何かをやってみようという人が誰でも集まれるサロンがあると良い。
 - ・ 地域でのイベント(お祭りなど)に、誰でも気軽にやれる範囲内で一緒にボランティア活動ができるチャンスを増やしていきたい。
 - ・ 顔のみえる関係づくり、子育て支援、サポートをしている公的機関、民間事業者、住民、地域関係者が定期的に集まり、情報交換を行う場を設けられると良い。

障害関係団体・施設

- 回答者 「当事者団体部会・障害者施設連絡会」(令和元年9月、10月実施)
「青葉区聴覚障害者協会」(令和元年11月実施)
- 主な意見
 - ・ 交流できるイベントの機会を増やし、当事者や家族が積極的に地域に出て行く意識を持って、まずは顔見知りになることが必要。
 - ・ 障害者が地域の中で高齢者や子供も一緒に楽しめるスポーツやカルチャーの場が定期的にあると良い。
 - ・ 障害のある人は地域との関わりがあまりない場合もあり、災害時の不安を抱えている。
 - ・ 障害のある人の相談窓口を増やし、相談先を地域の回覧板で知らせてもらえると良い。
 - ・ 誰もが受け取れるよう、情報発信することが必要。
 - ・ 障害体験の普及・見えない障害が、より多くの人々に分かるようになれば良い。
 - ・ 区内の福祉施設見学会や、区内障害福祉専門の情報紙の発行やネットでの発信が必要。
 - ・ 学校教育の中で「知る」「見る」「体験する」という機会を作り、早い時期から自分達の身近に障害のある方々が生活していることを知ってもらえると良い。
 - ・ 地域で障害に関すること、特に成人に関してはほとんど話題にならないため、もっと多くの人に知ってもらうことが大切で、特に子どもたちに伝えていく必要がある。
 - ・ 子どもたちの福祉体験、福祉教育の機会が増えると良い。
 - ・ 地区社協等、地域に障害者の意見を伝えることができる場があると良い。
 - ・ 区役所、警察、病院等には特に手話通訳者を配置したり、職員がタブレットで遠隔操作するなど、筆談以外の方法で相談できるようになると良い。

各種団体・委嘱委員等の紹介

自治会町内会

自治会町内会は、地域住民の連帯感を育み、地域の福祉・環境・防犯・防災等、さまざまな課題に取り組みながら、まちづくりを進めていく住民の自治組織です。

青葉区内には、令和3年3月現在163の単位自治会があり、この単位自治会が地域ごとに集まって、15の連合自治会町内会を形成しています。

地区社会福祉協議会

地区社会福祉協議会（地区社協）は、地域住民に最も身近な社協として、地域の方々が「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。

困りごとを発見し解決に向けた活動を住民同士で話し合い、取り組める民間組織としての「自主性」と、行政や専門家と対等な立場での発言や福祉のためのお金を有効に地域で活用できる組織としての「公共性」という2つの特徴を持っています。

青葉区には15地区の地区社協があり、サロン、食事会、イベント、生活支援など、各地区で様々な活動を展開しています。

民生委員・児童委員

民生委員は、民生委員法に基づき、自治会町内会の推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱される非常勤特別職の地方公務員です。児童委員も兼ねています。また、児童福祉を専門的に担当する主任児童委員もいます。

青葉区では約300人の民生委員・児童委員及び主任児童委員が活躍しています。ひとり暮らし高齢者等の世帯を定期的に訪問し、見守りを行っているほか、食事会やサロンを開催している地域もあります。

地域の身近な相談者として、子育てから介護に至るまで、福祉的な相談に応じ、必要な支援へのつなぎ役を担っています。

保健活動推進員

保健活動推進員は、地域の健康づくりの推進役で、行政の健康づくり施策のパートナーです。自治会町内会の推薦を受けて、市長から委嘱され、青葉区では16地区で約280人が活動しています。

保健活動推進員は、自身の健康づくりとともに、地域ケアプラザや公園等で「体操教室」「健康講座」「健康チェック」「ウォーキング」などの活動を行い、地域全体の健康づくりのための支援を行っています。



防災訓練



ハマトレ&ラジオ体操



民生委員・児童委員の見守り活動



ウォーキング

食生活等改善推進員（ヘルスマイト）

青葉区食生活等改善推進員会（青葉区ヘルスマイト）は、食生活等改善推進員セミナーを受講した修了生で構成されるボランティアグループです。「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に食生活を中心とした健康づくりの啓発を進めています。地域ではライフステージに応じた食育講習会や、防災訓練などで災害時に役立つ健康づくりの講習会を行っています。



健康フェスティバル

かがやきクラブ青葉（青葉区老人クラブ）

かがやきクラブ青葉（青葉区老人クラブ）は、趣味やスポーツ、高齢者・子どもの見守りやボランティア活動等の地域貢献をとおして仲間をつくり、生きがい・健康づくりの活動をしています。入会を希望する概ね60歳以上の高齢者を対象とし、自治会町内会などの歩いて集まることができる範囲で組織しています。令和3年3月末現在、青葉区内には88のクラブがあり、5,000人以上の会員が所属しています。



みんなで楽しくグラウンドゴルフ

青少年指導員

青少年指導員は、自治会町内会等からの推薦に基づいて、県知事及び市長が委嘱し、青少年の健全育成を図ることを目的に活動しています。青葉区では約170人が活動しており、主な活動として、地域でのパトロールや地域の特性に合わせたイベント等の実施、区民まつりや区民マラソンなど、区や市、県が実施する各種イベントの運営、協力を行っています。



星を観る会

スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法、横浜市スポーツ推進委員規則に基づき、自治会町内会から推薦され、市長から委嘱されます。青葉区では約180人が活動しており、主な活動として自治会町内会を中心とした各地域においてスポーツ・レクリエーションの普及活動や、市や区が実施する各種イベントの運営・協力を行っています。



救急救命講習

第4期青葉区地域福祉保健計画策定委員会 名簿

第4期青葉区地域福祉保健計画策定委員会 名簿

(敬称略・順不同)

氏名	所属団体
山川 英子 ^(※)	青葉区連合自治会長会 青葉区社会福祉協議会 地区社会福祉協議会分科会 (令和3年度から)
山本 俊夫	青葉区医師会
山本 昭二 (令和2年度まで)	青葉区歯科医師会
鳥居 浩一郎 (令和3年度から)	
関水 康成	青葉区薬剤師会
徳江 傳三 (令和2年度まで)	青葉区社会福祉協議会 地区社会福祉協議会分科会
小嶋 優	青葉区民生委員児童委員協議会
三浦 尚美	青葉区民生委員児童委員協議会 主任児童委員連絡会
越井 太郎 (令和2年度まで)	青葉区保健活動推進委員会
笠原 喜七重 (令和3年度から)	
相原 照世 (令和2年度まで)	青葉区老人クラブ連合会
池上 啓二 (令和3年度から)	
添田 好男	青葉区地域自立支援協議会
荒堀 洋子	青葉区PTA連絡協議会
高橋 充	青葉区スポーツ推進委員連絡協議会
御手洗 由美子	青葉区青少年指導員連絡協議会
三村 徳子	青葉区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動分科会
西尾 敦史	愛知東邦大学 教授

(※) 策定委員長

関係機関一覧

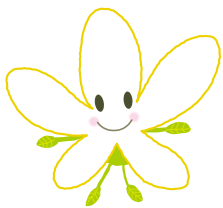
令和3年4月時点

	名称	電話番号	主な業務内容
青葉区役所	総務課	978-2213	防災・災害対策等
	区政推進課	978-2216～7	区の主要事業の企画・調整等
	地域振興課	978-2291～2	自治会町内会、区連合自治会、防犯、生涯学習講座、スポーツ振興等
	福祉保健課	978-2438～41 ・2436 ・2433	感染症対策、健康増進 地域福祉保健計画、地域ケアプラザ等の運営・管理 民生委員・児童委員、保健活動推進員等
	高齢・障害支援課	978-2444～5	要援護高齢者支援、介護予防支援、身体障害者・知的障害者・精神保健福祉、難病患者支援、介護保険認定、老人クラブ等
	こども家庭支援課	978-2456 ・2460 ・2428 ・2457 ・2459 ・2345	母子健康手帳、乳幼児健康診査、子育て支援等 妊娠期から思春期までの子育てに関する相談 保育所等利用調整、給付・認定、公立保育所運営 ひとり親福祉、女性福祉相談、障害児福祉 児童手当、小児慢性特定疾病、養育医療等 放課後児童育成事業、青少年指導員等
	生活支援課	978-2446	生活保護の相談・申請、生活困窮者自立支援等
地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	荇田地域ケアプラザ	911-8001	【地域ケアプラザ】 自主事業の開催、地域活動の紹介・調整、ボランティア活動への支援・コーディネート、福祉保健活動の場の提供(貸室)等 【地域包括支援センター】 福祉保健に関する相談、高齢者の介護や権利擁護、介護予防事業、介護保険の相談等
	もえぎ野地域ケアプラザ	974-5402	
	奈良地域ケアプラザ	962-8821	
	さつきが丘地域ケアプラザ	972-4769	
	美しが丘地域ケアプラザ	901-6665	
	大場地域ケアプラザ	975-0200	
	鴨志田地域ケアプラザ	961-6911	
	ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ	308-7081	
	青葉台地域ケアプラザ	988-0222	
	恩田地域ケアプラザ	988-2010	
	たまプラザ地域ケアプラザ	910-5211	
すすき野地域ケアプラザ	909-0071		
社 青葉区 協	青葉区社会福祉協議会	972-8836	地区社協活動支援、生活福祉資金貸付、あんしんセンター(権利擁護)事業、移動情報センター等
	あおばボランティアセンター	972-7018	ボランティアに関する相談、福祉教育等

	名 称	電話番号	主な業務内容
その他の拠点等	あおば地域活動ホーム すてっぷ	988-0222	障害児・者に関する一般的な相談、障害のある人の日中活動事業、余暇支援 等
	青葉区生活支援センター ほっとサロン青葉	910-1985	精神障害のある人の日常生活相談、フリースペースでの仲間づくり 等
	青葉区中途障害者地域活動センター 青葉の風	972-6751	中途障害者の活動についての相談、脳血管疾患の後遺症のある方のリハビリ教室、高次脳機能障害の相談 等
	青葉区地域子育て支援拠点 ラフル	981-3306	親子の居場所、子育て相談、子育て情報の提供、ネットワークづくり、横浜子育てサポートシステム、横浜子育てパートナー（利用者支援事業）
	青葉区地域子育て支援拠点 ラフル サテライト	979-1360	
	青葉区区民活動支援センター	978-3327	市民活動、生涯学習、ボランティア活動 等
	青葉国際交流ラウンジ	989-5266	国際交流、生活情報の提供や相談 等
	青葉区青少年の地域活動拠点 「あおばコミュニティ・テラス」	500-9254	青少年の居場所、体験・機会の提供、相談支援

第 4 期青葉区地域福祉保健計画

令和 3 年度発行



青葉区
マスコットキャラクター
なしかちゃん



横浜市青葉区役所福祉保健課

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町 31-4

TEL : 045-978-2436 FAX : 045-978-2419

HP : <http://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/>



ほし、
よこはまは
あったかい

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町 1169-22

TEL : 045-972-8836 FAX : 045-972-7519

HP : <http://www.aosha.jp/>



青葉区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
あおばちゃん